

[那覇港那覇ふ頭地区・泊ふ頭地区・新港ふ頭地区・浦添ふ頭地区検討の経緯]

年 月 日	内 容
H15年3月	那覇港港湾計画改訂
H24年5月15日	沖縄21世紀ビジョン基本計画 決定
H25年2月5日	第1回那覇港長期構想検討委員会
H26年3月25日	第2回那覇港長期構想検討委員会
H27年3月26日	第3回那覇港長期構想検討委員会
H27年4月28日	第23回那覇港湾施設移設に関する協議会 浦添市は、浦添ふ頭コースタルリゾート地区計画の見直しに伴う浦添ふ頭内における代替施設の位置の変更を要望。
H27年9月17日	沖縄県アジア経済戦略構想 公表
H28年1月18日	浦添市から要望のあった西向きのビーチ、マリーナ、クルーズバースを反映した那覇港管理組合の4案を公表
H28年2月16日	那覇港湾施設移設に関する担当者会議
H28年3月30日	第4回那覇港長期構想検討委員会
H28年5月 ～H29年3月	構成団体において、那覇港湾施設代替施設を浦添ふ頭地区内の北側と南側に配置した場合について、民港への影響・支障を比較・検討。
H29年4月27日	第24回那覇港湾施設移設に関する協議会 ○那覇港管理組合構成団体調整会議の検討結果として、那覇港湾施設代替施設を浦添ふ頭地区内の北側と南側に配置した場合について民港への影響・支障を比較した評価結果を報告。 ○浦添市から、「代替施設の配置案の選定については、持ち帰り、時間をかけずに、後日、改めて回答したい」旨の意見があったことから、評価結果を踏まえた代替施設の配置案の選定については、浦添市の回答を確認した上で、改めて協議を行うことを確認。
H29年5月15日	沖縄21世紀ビジョン基本計画【改定計画】決定
H29年12月26日	那覇港管理組合構成団体調整会議 ○浦添市から、浦添市西部開発に関する懇話会の結果として、代替施設を南側へ配置する案が望ましいとの報告。
H30年7月6日	那覇港管理組合から浦添市へ、技術的な検証を行うための資料を提示。
H31年4月23日	第25回那覇港湾施設移設に関する協議会 ○沖縄県、那覇市、浦添市、那覇港管理組合を中心に、事務的、技術的な検討を進めて論点を整理し、方向性を導き出すことを確認。
R1年5月24日	沖縄県、那覇市、浦添市、那覇港管理組合における調整会議 ○那覇港管理組合からは、浦添ふ頭地区のまちづくりに配慮した那覇港港湾計画検討案を提供。今後、案に対する意見と、事務的、技術的な検討の進め方について議論して行くことを確認。

年 月 日	内 容
R1年7月29日	<p>浦添ふ頭地区調整検討会議（仮称）</p> <p>○次回の調整会議は、8月下旬から9月上旬の間に開催を予定し、本検討会議において、県の観光部局など関係者に出席を求め、沖縄21世紀ビジョン基本計画や沖縄県アジア経済戦略構想などの上位計画において、浦添ふ頭地区に求められる機能等の位置づけ、並びに「世界水準の観光リゾート地の形成」、「アジアを中心とする海外富裕層の獲得を目指した戦略の構築」についての考え方を確認する。また、浦添ふ頭計画策定に向け、各構成員において、技術的な検討を行うために、必要な前提条件を整理し確認する。</p> <p>○技術的な検討にあたっては、那覇港管理組合構成団体調整会議に作業部会又は浦添ふ頭計画に特化した会議を新設し、事務的な議論、整理を進める。</p>
R1年9月5日	<p>浦添ふ頭地区調整検討会議（仮称）</p> <p>○県の観光部局に出席頂き、沖縄21世紀ビジョン基本計画や沖縄県アジア経済戦略構想などの上位計画において、浦添ふ頭地区に求められる機能等の位置づけ、並びに「世界水準の観光リゾート地の形成」、「アジアを中心とする海外富裕層の獲得を目指した戦略の構築」についての考え方等の意見交換を実施。</p> <p>○那覇港管理組合から、浦添ふ頭施設配置案の作成に向けた前提条件を提示するとともに、技術的な検討を行うための今後の進め方として、技術的、事務的検討フローを提示。</p> <p>○浦添市は、前提条件、今後の進め方を持ち帰り検討する。また、これまで、前提条件として、浦添市に対し、代替施設を配置できない空間を示すよう求めていたが、浦添市から、「本会議において物流、観光の両方の視点から検討し、進めているところであり、浦添市が先に提示するというものではないと考える。」との回答があった。</p>
R1年10月29日	<p>浦添ふ頭地区調整検討会議（仮称）</p> <p>○那覇港浦添ふ頭地区に関する事務的・技術的な検討を進め、港湾計画の方向性を導き出すために、構成団体間の連絡調整、検討を円滑に行うことを目的として、那覇港管理組合構成団体調整会議の下に浦添ふ頭地区調整検討会議を設置することを確認し同意。</p> <p>○浦添ふ頭施設配置案の作成に向けた前提条件（基本的な考え方・施設諸元）及び技術的な検討を行うための技術的、事務的検討フローを確認し同意。詳細については、適宜確認のうえ対応することを確認。</p> <p>○これまでのコースタルリゾート計画について確認。</p>

年 月 日	内 容
	<p>○那覇港湾施設の浦添ふ頭地区への移設先については、これまでの北側案、南側案に拘らないことを確認。</p> <p>○沖縄県の上位計画である「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」「沖縄県アジア経済戦略構想推進計画」等を踏まえ、「物流機能の拡充」及び「世界水準の観光リゾート地の形成」の観点から検討する。</p> <p>○技術的検討の手順（案）を提示。</p> <p>○複数案から選定するための評価項目及び判断材料（案）を提示。</p>
R1 年 11 月 22 日	<p>令和元年度第 1 回那覇港管理組合構成団体調整会議</p> <p>○浦添ふ頭地区調整検討会議（以後、検討会議と表記）を設置し、これまでに開催された、合計 4 回の会議状況を報告。</p> <p>○今後、浦添ふ頭地区の港湾計画の方向性については、検討会議において調整、検討を進め、進捗状況に応じ、那覇港管理組合構成団体調整会議に諮ることを確認。</p> <p>○今後の技術的、事務的な検討の内容、行程等については、改めて構成団体の意向を確認のうえ、検討会議のなかで調整、検討を進めることを確認。</p> <p>○民港計画案の作成に向けた前提条件については、目的に応じた妥当性の高い与条件を設定するため、今後、検討会議で調整することを確認。</p> <p>○民港計画案を作成後に、代替施設の配置案を国が作成することを確認。</p> <p>○21 世紀ビジョン基本計画等と、那覇港長期構想及び那覇港港湾計画のあり方を整理したうえ、構成団体それぞれの役割を今後確認していく。</p> <p>○コースタルリゾート計画については、浦添市が主体となり検討を行い、その内容について今後調整していくことを確認。</p>
R1 年 11 月 26 日	<p>第 26 回那覇港湾施設移設に関する協議会</p> <p>○本協議会において、沖縄県から、三者面談での確認事項の報告、那覇港管理組合から、浦添ふ頭地区調整検討会議での調整状況の報告を受けた。その上で、浦添ふ頭地区調整検討会議において、事務的、技術的な検討をスケジュール感を持って行い、港湾計画の方向性を速やかに導き出すことを確認。</p> <p>○これまでの移設協議会において、「那覇港湾施設の移設については、民港の港湾計画との整合を図りつつ進めていく」ことが確認されており、これらを踏まえた上で、国としては、民港の港湾計画との整合を図りつつ、これと並行して、代替施設の配置に係る技術的な検討を防衛省及び国交省で実施し、早期に港湾計画の結論が得られるよう地元の関係機関を支援していくことを確認。</p>